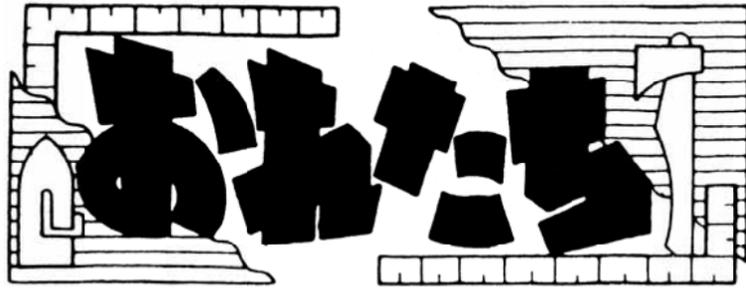


### 無料法律相談日の案内

5月15日(金)14時~16時

希望者は前日までに予約を

4月初組合員数=1,974人(+13人)



発行所  
東京土建一般労働組合荒川支部  
東京都荒川区荒川6-3-1  
TEL(3892)9131 FAX(3892)9381  
発行者・豊田佳二/編集長・堀 茂男  
http://www.doken-arakawa.org/

# 原発の数、世界で第3位と異常

## 原発事故から4年、いまだ収束が見えず

去る2月16日(月)ムーブ町屋で上映された映画、「日本と原発」の構成と監修を担当された、海渡雄一弁護士に取材しました。  
福島原発事故以来4年が経ち、いまだに収束が見えません。福島第一原発も含めた、日本の異常な原発問題についてお話しいただきました。  
取材 川又好一記者 日暮里一分会・竹達浩記者 川南千住分会

### 三度開くパンドラの箱

福島原発事故以来、早や4年の歳月が過ぎていて、基本的には廃炉が決まっています。現在も廃炉の工程表すらできていないのが現実です。

その主なる原因は、地下水と汚染水問題です。

地下水問題は、建設予定地が海拔35メートルの台地であったのを経済優先のため安全を無視して、25メートル掘り下げてつくられたことです。その為、震災後原発全建屋内に地下水が浸水して高濃度汚染水と混ざり、1日に350トンの汚染水が増え続けているとい

### ゆりかごの国

経済性優位、即ち利潤第一主義の原発は、安全神話で偽装された「パンドラの箱」だったのです。その箱の蓋を開けたきっかけは地震だったのかも知れませんが、開けられた蓋を再び閉じる技術を私たち人間は持っていませんでした。

日本の国はユーラシア・フィリピン・太平洋・北米プレートとの地殻運動によって造られたと言われています。今もそれによって地震が起きていて、無数の断層が確認されています。ゆりかごのように揺れ動いている小さな日本の国が、原発の数ではアメリカ

### 天国か地獄か

核のゴミの問題は国際的な問題になっています。

とフランスに次いで54基の原発があります。世界3位とこれはまさに異常です。その数の原発が稼働して、使用済み核燃料(核のゴミ・冷却しないと核爆発をひき起こす)がどれ位あるのか、国民には全く知らされていません。



取材を受けてくださった海渡弁護士

それはゴミに含まれるプルトニウムの放射線の半減期は2万4千年と言われ、10分の1以下になるのには10万年近くかかるというものです。放射性廃棄物なのでその処分法も処分



竹達記者が海渡弁護士に取材をする

### 無責任はダメ

元首相小泉純一郎氏が、フィンランド・オンカラの放射性廃棄物最終処分場を見て、「日本にはそのような地層がない」ことを知ったそうです。

そういった事で、「原発ゼロ」を発信したことは大変良いことです。

しかし、小泉氏の在任中の施策である「原子力立国計画」推進の中で、太陽光発電の補助金も打ち切り、原発耐震研究のための工学試験場も国費の無駄として廃止をしています。

日本にはそのような地層がないことは、原発建設以前にわかっていた事です。それを強引に建設を進めた責任は極めて重いです。もしその責任を果たすとするならば再稼働を許さず、「原発ゼロ」の方針を打ち出す以外には道はありません。



映画「日本と原発」の題材となった福島原発事故

### ひぐらし

戦後70年を迎え、戦争を知る人が今の政治は戦時中と同じようになってきていておかしいと感じてきた。今こそ、「戦争はダメだ」と声を上げるべきだ。国民が政治に対し疲れ、関心が薄れてきている今は、安倍政権は何をするかわからず危険である。

▼安倍政権は、稚拙な事例ばかり挙げて他国の紛争に「我が軍」を出す必要があると繰り返す。政府・与党が他国を武力で守る、集団的自衛権の行使を安倍流の「我が軍」にする事になると、これは明らかに憲法違反となる。自国民の命を助けるという大義名分で「我が軍」の海外派遣を拡大させる事は、戦前の旧日本軍の大陸進出や南方進出も邦人保護の美名の下に行われたと云われ、同じ方法を踏襲することになる。

▼米軍普天間飛行場の名護市辺野古への移設問題をめぐっては、国と県の溝は開くばかりだ。国の上から目線の言動で、民意は離れて怒りが増幅している。解決の糸口は不明だ。

▼村山富市元首相は戦後50年にあたり、当時「村山談話」を発表。歴代内閣としては初めて過去の過ちを素直に認めて、謝罪を表明した。隣国との関係良好のための謝罪外交には疑問の余地もおおいにあるが、70年談話も世界が信頼してくる内容にと願う。(虎)



# 賃金単価引き上げを

## 生活危機突破中央決起集会

【日暮里一・椿甚一通信】3月25日(水)ニッソヨーホールで行われ685人が参加した。12時30分より開会し、『全建総連



団結のハチマキを締め集会

結』の手拭いを頭に巻いて、プラカードを全員でかかげて「賃金・単価の引き上げを」そして「全建総連 団結ガンバロー」と声を上げた。議長団選出では東京土建の人見委員長が副中央執行委員長に選ばれ、来賓挨拶、業界挨拶を紹介した。公共工事設計労務単価が3年連続引き上げられたが、現場の第一線で働く労働者の賃金引き上げは、いまだ一部にとどまっている。今必要なことは、現場で働く全ての建設労働者の賃金を大幅に引き上げる事であると訴えた。基調報告、全国からの活動報告、そして決意表明では、青年部の仲間から大工で一人親方をやっているが、工賃が下がりギリギリの状況と現状を訴えた。そして団結ガンバローで閉会した。

# 身近な話に花が咲き

## 荒川分会レクリエーション

【南千住・竹達浩記者】3月21日(土)汐入公園で荒川分会が春のレクリエーションを行いました。通常の拡大行動で新しく組合に加入された方々の歓迎と懇親、日頃から拡大行動に励んでいる組合員への慰労を目的とし、当日は天気にも恵まれ、総勢で25名の参加でバーベキューをし沢山のごちそうを囲んで、組合の話や日頃の身近な話に花が咲きました。荒川分会では分会独自の活動として、餅つき大会や夏は船で東京湾一周し夜景を楽しむ企画など、多彩な活動をしていることを伺い大変有意義な取材をすることができました。



みんなで記念写真

# 民主主義を取り戻せ

## 安倍政権NO☆3・22大行動

【日暮里一・堀茂男記者】3月22日(日)に、春の陽気に恵まれた中、民主主義を取り戻せ!のスローガンのもとに、現政権の政策への反対を訴える「安倍政権NO!☆0322大行動」が行われ、日比谷野外音楽堂とその周辺に1万4千人が結集し、荒川支部からは8名が参加しました。集会後の国会請願デモと国会大包囲行動では、「安倍政権NO」と書かれたプラカードを掲げながら、「安倍政権の暴走ストップ!」、「すべての原発の再稼働反対!」、「集団的自衛権行使に反対!」など声高らかに連呼し、行進デモを行いました。

# 消費税増税は許さない

## 3.13重税反対統一行動

【税金対策部・藤川直樹部長】3月13日(金)に重税反対統一行動に、荒川民商、新日本婦人の会、年金者組合、荒川生活と健康を守る会とともに取り組みました。参加は全体で約250人。支部からは55人の参加でした。荒川公園で集会アピールを採択後、日暮里地域を経て荒川税務署までデモをしました。デモ行進の中では、

「消費税反対」「生活費に消費税をかけるな」とみんなで訴え歩きました。税務署前で要請文を手交し、参加者が代わる代わる確定申告書を提出しました。参加者が以前より少なくなりました。組合員の高齢化もあるでしょうが、みんな大丈夫なかと、少し心配しました。



安倍政権NO!

# 初めてデモに参加しました



大橋 正博さん(事業所)

「集会やデモは、今までテレビでしか見ていなかったもので、他人事と言うかあまり現実味がありませんでした。今回、実際に参加してみると、参加人数の多さにビックリしました。そして、参加した労働者の一員、仲間として、声を上げていかなければと認識をあらたにしました。次回も是非時間があれば、参加したいです。」と答えてくれました。デモ終了後、大橋さんの顔に汗が光りながらの笑顔が印象的でした。

# 全分会で分会総会を開催

## 日暮里一分会報告

【日暮里一・堀井龍二通信】3月28日(土)午後7時から三河島町会館で日暮里1分会の分会総会が行われました。司会を筋内博美さんをお願いし、椿甚一分会長の挨拶で始まりました。総会の後には、元ザ・サベージの渡辺さんのハーモニカ演奏を聴き、焼き鳥などのおつまみで、お酒を飲み楽しい時間を過ごしました。最後に元ザ・サベージの渡辺さんから「リクエストをください。」と言われました。私は、福島原発の問題や、安倍政権の「戦争する国づくり」に不安を感じているので、今心にしみる曲「戦争をしらない子供たち」をリクエストし、一緒に歌いました。



総会後は楽しい時間を過ごし

2015 5/1(金) 第86回 **メーデー** JUMP UP!!

代々木公園 働くものの団結で生活と健康を守り、平和と民主主義、中立の日本を目指そう

5月1日(金)はメーデー参加のため事務所を閉めさせていただきます。

地域公演案内

第14回 **サンポップ 寄席**

古今亭菊之丞

出演 古今亭菊之丞/宮田陽昇 春風亭一左/柳家桂花

2015年 5月23日(土)

開場 午後4時30分 開演 午後5時

会場 センターまちや3F ムーブ町屋【ムジカホール】

入場料 サンポップカードメンバー 1,500円 / 一般 2,000円

観劇補助の申請は観劇日より1カ月以内。チケットの半券を持参し組合事務所へお越しください。

# 鈴ノ屋 ウイローラブきなこ棒! アメリカ人が好きな日本の駄菓子で1位に

「日本の駄菓子は安くておいしい」と、お土産に買う外国人観光客が急増しています。そして、この駄菓子を海外に持っていき現地の人に試食してもらい、人気ランキングベスト5を決定するという番組に出演されました。その番組は、TBSの「所さんのニッポンの定番」で2月3日(火)に放送されました。その

なかで、堂々一位になんと「きなこ棒」が選ばれました。製造卸のメーカーの株式会社鈴ノ屋代表取締役小林瑞樹(こばやし・みずきさん(39歳))を訪ね、お話をうかがいました。  
(荒川区南千住6-22-5)  
文・写真 根本武義記者(南千住分会・川又好一記者(日暮里一分会))

に有る鈴ノ屋さんが、製造する「きなこ棒」でした。46人が1位に選びました。ここ数年アメリカ人はロカローリーで健康的な食品を買うようになってきてい



笑顔の眩しい小林さん

第一弾はイタリヤで行われ、今回は日本から8700kmの、アメリカ西海岸の最大都市ロサンゼルス、世界中の食文化が集まるロスで始まりまして。『ニッポンの味再発見!』

駄菓子世界ツアー「アメリカ」15種類を、番組スタッフが和風売り子スタイル(ハッピ姿で、道行く人々に試食してもらいランキングを決めました。アメリカで試食した人217人が選んだベスト5は以下の通りの順位となりました。5位ふ菓子、4位ベビースターラーメン、3位うまい棒、2位都こんぶ、そして栄えある第1位は荒川区



沢山のきなこ棒がつくられ出荷作業中

コメントとしては「砂糖や塩を使いすぎない上品な味付けがとても良い!」や「これは最高のお菓子だ」と好評でした。

会社の事務所で、『所さんのニッポンの出番駄菓子ランキングinロサンゼルス第1位』トロフィーが輝いていました。

### きなこ棒づくり 3代目となる

会社は明治通りのサンパール荒川から千住間道を荒川区総合スポーツセンターに向かい、セブンイレブンの信号を左に曲がってしばらく行くと閑静な住宅街の中に真新しい工場があります。

中では作業の方々14人、15人が忙しくしていました。「昨年の12月にこの工場に引っ越して来たばかり」と奥さんの鈴子(れいこ)さんが話してくれました。朝は4時に起きて準備を始めると言っていました。工場の

中は所狭しと、きなこ棒の商品が製造されています。お伺いした12時30分頃は、出荷作業と重なったため、大変ご迷惑をかけたがらの取材となってしまいました。

鈴ノ屋さんは、平成23年に設立しましたが、それまで奥様の実家の有限会社宇佐見製菓で、夫婦共に働いてました。戦後祖父の宇佐見薫さんが始めた和菓子店を2代目宇佐見昌輝さんがきなこ棒を主として製造し、娘の鈴子さんが小林さんと結婚し、3代目となり、鈴子さんの鈴から会社名を鈴ノ屋となりました。

### 知名度上がり 注文が増える

社長は「アメリカで1位になったことで知名度も上がり、テレビの放送後は問い合わせも多くなっています。国内業者の注文は増えています。現在は注文数に応じられず、お客様にご迷惑をかけている状況です。

社長は「アメリカで1位になったことで知名度も上がり、テレビの放送後は問い合わせも多くなっています。国内業者の注文は増えています。現在は注文数に応じられず、お客様にご迷惑をかけている状況です。

## 仲間の横顔



五十嵐信雄さん(荒川分会)

平成5年に組合に加入し、現在PALの会長とされている五十嵐信雄さんにお話を聞きました。

「荒川生まれの荒川育ち、地元の区立第七峡田小学校から区立第五中学校を卒業しました。伯父さんの建築金物取り付け業の会社に就職。10年修業し30歳の時、荒川区で独立しました。五箇谷副

委員長と同級生で遊び仲間であった事から、土建の健康保険、いろいろな制度があることや、活動の話しを聞き土建組合に加入し23年になります。仲間も沢山できました。分会では賃金対策部を担当し、5年前からはPALの会荒川支部の会長も務めています。PALの会に入り、街から消えていくのは商店や商店街だけではないこと、建築関連の店も消えていく現状であること、大手の野丁場は低賃金、長時間労働を強いることを知り、強く怒りを感じます。趣味は黒人トランペッターのマイルス・デイビスのジャズを聴く音楽鑑賞です。PALの会の会長として、人なみに暮らせる賃金、子供が親の仕事を継げるように活動を頑張っています。」

取材 並木義男記者(荒川分会)



一位に輝いたきなこ棒

社長さんの笑顔と奥さんの働く姿が印象に残る取材でした。



### ひとくち映画情報

## 『サンドラの週末』

ジャン・ピエール&リュック・ダルデンヌ監督



Cles Films du Fleuve - Archipel 35 - Bim Distribution - Eyeworks - RTBF (Televisions, belge) - France 2 Cinema

フランスの人気女優マリオン・コティヤール主演の社会派ドラマ。各映画賞をさらった話題作です。体調不良で勤め先の工を休職していたサンドラ。復職しようとした矢先、解雇を言い渡されま

の票を得るため、サンドラは週末、夫とともに同僚の家を説得に訪ねることにします。監督は「ヨーロッパが直面している経済的・社会的危機からこの映画のアイデアを得た」というジャン・ピエール&リュック・ダルデンヌ兄弟。Bankamura ル・シネマ、ヒューマントラストシネマ有楽町ほかで、5月23日から全国順次ロードショー。